

## 臨床研究に関する情報公開（オプトアウト）

研究の名称	大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する末梢血管内治療に関する多施設前向き研究
所属（診療科等）	循環器内科
研究責任者（所属）	石川 敬喜（医局）
研究の意義と目的	<p>下肢動脈に対する血流を改善させる血行再建術には外科的バイパス術とカテーテルを用いた血管内治療の2種類がありますが、より負担が少ない血管内治療の成績は、特に大腿膝窩動脈の領域においてはその治療成績（開存率）が問題となり議論されてきた。</p> <p>しかし近年、薬剤コーティングバルーン、薬剤溶出性ステント、血管内ステントグラフト、インターウーブンナイチノールステントなどの新しい治療器具を用いることが可能となり、これまでのバルーン拡張術、ベアナイチノールステント留置術に比べ、再狭窄や再閉塞が生じにくいことが報告されています。</p> <p>そこで、本研究では、大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症に対して、これらの治療器具の実臨床における治療成績の実態を調査します。この研究を実施することで、血管内治療の治療成績およびその成績に関連する因子の詳細が明らかになり、将来同様の病気で治療を受ける方を診療する際に大いに役立つと考えています</p>
研究期間および目標症例数	<p>研究期間：研究実施承認後～2023年12月31日</p> <p>収集期間：研究実施承認後～2022年12月31日</p> <p>目標症例数：400例</p>
研究方法	<p>この研究は、大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症の患者さんで、血管内治療をすることが最も適切な医療行為だと判断され、実際に血管内治療が予定されている患者さんを対象としています。血管内治療を実施する前後と、治療を行った1年間の足の状態、血管の状態等のデータ収集いたします。</p>
個人情報の取り扱い	<p>本研究は提供者又は代諾者から既存資料・情報の利用に係る同意を受けることができないため、福岡大学のホームページに下記①～⑥の情報公開を行い、研究対象者から拒否の保障を行う。</p> <p>① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）</p> <p>② 利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③ 利用する者の範囲</p> <p>④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p> <p>⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること</p> <p>⑥ 研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法</p>

問い合わせ先	照会先および研究への協力を拒否する場合の連絡先 担当者氏名：石川 敬喜（循環器内科 医師） 住 所：〒876-0835 大分県佐伯市鶴岡町 1 丁目 11 番 59 号 電 話：0972-24-3000（内線 8031）
--------	---